



平成 26 年度 IYEO チャレンジ・ファンド助成事業

平成 26 年 8 月 31 日（日）、広島市立広島特別支援学校にて、障害福祉青年フォーラム 2014 in 広島～未来につながるインクルーシブな社会に向けて～が開催され、約 70 名の参加者が集いました。このフォーラムは、内閣府青年国際交流事業の一つである「青年社会活動コアリーダー育成プログラム（以下、「コアリーダー」）」の平成 23 年度派遣者の報告及び有識者による講演を実施することで、コアリーダー既参加者及び障害福祉関係者等が集い、議論し、新たなネットワークを構築すること等を通じて国内の障害福祉の向上を図ることを目指して実施されています。大分県で過去 2 年実施され、3 年目となる今年は場所を移し、広島で開催しました。広島の豪雨土砂災害直後ではありましたが、予定通り開催し、参加者は、インクルーシブ社会の実現に向け、国内の障害福祉に係る課題や解決策について共有を図るとともに、海外の障害福祉の現状について学びを深めました。

【障害福祉青年フォーラム実行委員会 実行委員長 横山 由季】

2012 年度より開催しているフォーラムも 3 回目となり、今年度は初めて広島県で開催しました。1 週間前に発生した豪雨による土砂災害により、犠牲になられた方、被害に遭われた方が多くいらっしゃる中ではありましたが、本フォーラムの趣旨を踏まえ、予定通り開催しました。施設の復旧作業中にも関わらず、ご参加いただいた方もいらっしゃいました。犠牲になられた方々に哀悼の意を表すとともに、被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。

近年、インクルーシブ社会の実現に向け、教育、医療、福祉分野で様々な議論が交わされています。その中で、我々が地域から実践できることは何か、海外の事例を踏まえ日々の活動で活用し実践できることは何かを考える機会とすることを目指しコアリーダー既参加青年及び、広島で積極的に活動している団体の事例発表を取り入れ、テーマに沿った幅広い情報共有ができる場を計画しました。

同時に、教育・医療・福祉・行政・当事者・家族などあらゆる立場の人が集い、意見交換を通じたネットワーク作りもねられました。関東や九州など遠方からの参加者もあり、活発な情報交換、想いの共有が行われました。他分野の専門職の方々とグループワークでは、参加者から、面白かった、新たに分

障害福祉

青年フォーラム

2012 in 広島

障害福祉青年フォーラム
実行委員会

かったことや気づきがあった、現場へ持ち帰り支援・指導へのヒントが得られたなどの声を聞くことができました。

今後も、それぞれの現場やフォーラムを通して、地域から実践するインクルーシブな社会を目指して活動していきます。皆様も、未来につながるインクルーシブな社会に向けて、共に行動しましょう！

最後に、共催、協賛、後援等いただきました関係者の皆様、運営にご協力くださいました方々、フォーラムにご参加いただきました皆様に感謝申し上げます。



【参加者の声（アンケートより抜粋）】

いろいろな立場の方から、いろいろな考え意見が聞ける環境が今後も必要であり、当法人でも外部の方に関わってもらい 1 つのテーマで話をしてみたいと思いました。ニーズを制度化していくために、現場でいろいろなニーズを聞きだし少しずつでも形にしていきたいと思います。今できること、今始めたいと思いました。

・情報共有や障害の社会への啓発以外にも、災害時の話も聞けて大変有意義でした。

・色々な立場で参加させていただいたが、どの立場にいても、どのような社会、まち（インクルーシブな社会）をつくるのかという想いを共有して、活動していくことが大切であると思った。

・最新の情報等を知ることができて良かったです。拠点施設のことや防災に関すること等、地域の中で必要なことを考えていかなければならないと思いました。

・“点と点を結びつけて、共通基盤を見つけていく”この言葉が深く印象に残っています。皆さん、分かりやすく話してくださったので、とても理解しやすく、受け入れることができました。

・地域とのつながりが障害を持っている人々をも、生かしていけることが分かった。

・災害についての対応や、地域で支えるという難しいテーマであったが、考える機会になってよかった。個人情報保護との兼ね合いや、計画相談のポイント等良い話がきけた。

【日程】

8月31日(日) 9:30-16:30	
9:30	開会式・ウエルカムアトラクション
9:40	講演① 社会福祉施策の動向について [講演者] 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉専門官 高原 伸幸
12:00	分科会 [未来につなげていくために私たちに何ができるのか] 第1分科会 (障害児を地域でどう支えるか?) 【グループワーク形式】 第2分科会 (卒業後の生活をどう考えるか?) 【グループワーク形式】
15:15	シンポジウム (地域で考える日本のインクルーシブ社会の実現)
16:20	閉会式

主催: 障害福祉青年フォーラム実行委員会、一般財団法人 青少年国際交流推進センター

共催: 日本青年国際交流機構 (IYEO自主活動サポート助成金対象事業)

協賛・協力: 広島県青年国際交流機構

後援: 厚生労働省、内閣府政策統括官(共生社会政策担当)、社会福祉法人 全国社会福祉協議会、日本障害フォーラム、広島県、広島県教育委員会、広島市、広島市教育委員会、一般社団法人 広島県手をつなぐ育成会、社会福祉法人 広島市手をつなぐ育成会